

みらしるべ

発行責任者 四街道市青少年補導委員連絡協議会
会長 久保木 利雄

事務局 青少年育成センター
電話 043(421)7867

「子どもの前で喧嘩しない。」
「正義と礼儀は大人が教えま
しょう。」



第四十九回千葉県青少年補導(委)員大会

受賞された岩瀬さんを囲んで

九月二十九日(土)木更津市かずさアカデミアホールに於いて、第四十九回千葉県青少年補導(委)員大会が開催されました。当市からは二十一名が参加しました。

大会では、当市青少年補導委員の岩瀬雄三氏が千葉県青少年総合対策本部長より永年の補導活動に対して表彰されました。

木更津市青少年補導委員会の補導員事例発表があり、寸劇を交えて薬物についての薬剤防止活動が紹介され、ダイエットなど身近な話題から薬物を勧める手口などが話されました。

続いて元警視庁職員で子育てアドバイザーの幸島美智子氏による講演がありました。

「ネット社会における子ども達」と題し、子どもをいじめや犯罪の被害者・加害者にならないために、「どのような行為が犯罪なのか」、また、「被害者は絶対に悪くない」と教えることが大事とのこと。

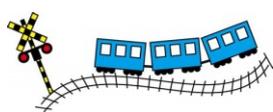
更に、スマホの問題点と対応について、子どもの成長段階に合わせた親の関わり方を、「自身の子育て経験談も交え講演されました。」

そして、虐待の早期発見も含め、補導委員として、責任ある大人として青少年に関わっていくことの大切さを語ってくださいました。

県下一斉広域列車パトロール

十月十九日(月)午前(四街道〜千葉)と午後(四街道〜佐倉)に分かれ青少年補導委員十名、青少年育成センター職員三名で広域列車パトロールを行いました。

電車で通学する子どもたちのマナー向上や非行防止等、健全育成を目的に、駅周辺や構内、及び列車内でのパトロールを実施しました。



千葉

四街道

佐倉

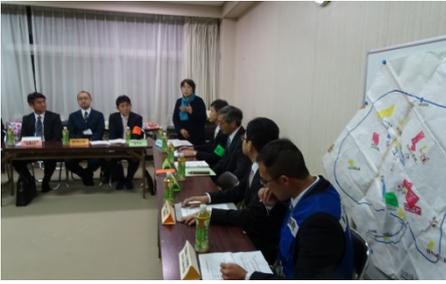
平成三十年度 五学区合同パトロール

五学区合同パトロールとは、他学区の状況を知るために、各中学校区の青少年補導委員が主催し、互いの地域に参加し合うパトロールです。開催学区の小中学校の先生・PTAにも参加していただきます。

それぞれの地域の様子を見て、意見を出し合うことで学校と地域が連携して情報を共有し、青少年の健全育成につなげていく取り組みです。

四街道中学校区

十一月二十一日(水)十六時三十分から、和良比小学校を起点として、四つのコースに分かれて合同パトロールを行いました。



夕方ので暗くなる時間が早くなり、公園で遊んでいる子ども達の帰宅を促したり、自転車の無灯火への声かけを行いながらのパトロールでした。

終了後の意見交換会では、「明るい道を歩くようにする」「公園遊びは暗くなる前に帰宅する」など、家庭での子どもたちへの関わり方が大事との意見が多く出ました。

四街道警察署生活安全課の小沢係長から、市内の犯罪件数は減少傾向にあるが、子どもと女性を犯罪から守ることが大事です。犯罪には、つきまといなどの前兆があるので、普段からの声かけをお願いしたいとの話がありました。

千代田中学校区



十一月十三日(火)に南小学校を中心に行われました。十六時三十五分に南小学校を徒歩パトロール二組、車パトロール一組で

物井二区、もねの里二丁目コース、もねの里三・四丁目コース、亀崎・物井コースをパトロールしました。

その後、意見交換し、それぞれの思いや感想を伺いました。

「防犯灯が少ない、暗い」という意見や、「もねの里は明るくて道路も広くうらやましい」との意見がありました。

旭中学校区

十月十六日(水)十六時より旭公民館を起点にして、四コースに分かれてパトロールが行われました。旭中学校区はエリアが広く、人通りの少ない箇所も多いのですが、たくさんの方の青少年補導委員及びPTAの方々の協力を頂く事ができました。

パトロールの後は、情報交換会が行われ、貴重なご意見・ご感想を伺うことができました。



《吉岡・鷹の台コース》

○旭中の通学路は六割が自転車を使用するが、街灯の少ない場所が多い事から、不安に感じている生徒もいる。トラブルが生じた場合、連絡が取りづらく危険。

《旭ヶ丘団地コース》

○帰宅時間を過ぎても公園で遊んでいる児童を見かけた。自転車で帰る様子も、ライトをつけていなかったり、道路を斜めに走行したりして危険だった。

《山梨・香取神社コース》

○通学路になっているが、昔からの道で歩道が狭く、街灯も少ない。
○車の抜け道になっていて、スピードを出す車もあるので、子ども達に自転車の乗り方を指導していきたい。

《みぞら団地コース》

○ご神木公園は住宅より高台にあり、樹木が多く死角になりやすい。

○団地内は広い道や狭い道が入り組んでいるため、自転車の子ども達が油断してスピードを出して飛び出す恐れがある。

○このような情報を、地域、学校、家庭で連携を取りながら、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

四街道北中学校区

十一月二十八日(水)、四街道北中学校を会場に五学区合同パトロールを実施しました。

中央小コース、栗山小コース、大日小コースの三コースに分かれて、通学路の安全や環境が整備されているかなどを見て回りました。

意見交換の場では、「急な上り下りの坂が多く、他学区とはまた違う危険を感じた」「歩道が狭く白線だけの所もあり、車と接触する恐れがある」との意見が出ました。

小中高校が隣接している特性として、「高校生には“大人”としての目配りを期待した指導をしている」とのお話もありました。

先生方もたくさん参加して下さい、これからも良い活動につながっていくと感じました。

四街道西中学校区

十月四日(木)十六時より他学区補導委員と四街道警察署生活安全課の協力をいただき、二十六名の参加者で、四街道小学校を起点に二つのコースに分かれ、徒歩で通学路の最も危険とされている箇所を重点的にパトロールしました。

その後四街道小学校視聴覚室をお



借りして情報交換会をおこないました。歩道の無い狭い道路が多いにも関わらず交通量が多いこと、街灯が

暗いなどの意見を頂きました。

先生方からは、大きな事故が無いのは、地区の皆さん、保護者の見守りのお陰であること、部活動の下校時には教職員も分担して指導しているとお話がありました。

《参加者の感想》

他学区の方とパトロールすることで貴重な意見や感想を聞けました。

四街道西中学校の通学路は道幅が狭い道路が多く、交通量も多いので危険です。珠算塾近くのカーブにあるふたつの横断歩道は運転手から見づらく、また四街道西中学校東側の道路が暗いなど危険箇所を再確認できました。

これからも安全安心に子ども達が登下校できるよう地域の皆様の見守りをよろしくお願いします。

四街道西中学校区 加村由紀

社会福祉大会・表彰者紹介

十一月二十日(火)十三時から

四街道市文化センターにて、四街道市社会福祉大会が開催されました。

「つなげます みんなで ささえよるふくしのちから」を合言葉に地域社会の支え合いで心豊かな地域を実現して参ります。

席上、青少年補導委員の二名が表彰されました。



受賞された金子さん

【会長表彰】

金子 浩明 氏
大沼 滋子 氏

千葉市・四街道市 隣接地域交流会

十二月十八日(火)、千葉市・四街道市隣接地域交流会が行われました。

千葉市中央区役所から千葉駅周辺を三コースに分かれてパトロールを行いました。他市との交流が盛んな



都会は人が多いですが、意外と人に無関心になつてしまうものです。自分自身も人に関心を寄せて日常を送りたいと思いつきながら帰路につきました。

千葉市の青少年補導員のお話しを聞きながら、実際に歩いて回り、色々と勉強させていただきました。ゲームセンターでは、大人とのすみ分けのために分煙など環境を整える努力をしていました。



ゲームセンター、アニメやカードゲームショップ、ボーリング場、きぼーるなどを案内されながら歩いていると、観光に来たようにキョロキョロしてしまいました。子どもにとっても魅力の多い街ですが、子ども達自身が気をつけられるように、各家庭でルールを決めて任せていくことが大切だと思います。

歳末たすけあい 街頭募金運動協力

四街道市社会福祉協議会主催の街頭募金運動に四街道市青少年補導委員連絡協議会も協力し、三十三名が活動しました。

【日時・場所】

十二月九日(日) M2 プラザ

十二月十六日(日)

イトーヨーカドー



四街道市 青少年補導委員研修会

【第二回研修会】

十月二日(火)青少年育成センター講演として、育成センターの遠藤所長から小中学校教育現場の報告と四街道警察署生活安全課の小沢係長から四街道警察署管内の現状報告がありました。

遠藤所長は「青少年の特性を理解

し、深い愛情を持って青少年に接しよう」との呼びかけをされました。

四街道警察小沢係長は「犯罪防止には青少年への声かけが必要で、地域で活動する人がとても重要です。パトロールはすればするほど犯罪は減っていきます。」と青少年補導委員の活動の重要性を語ってくださいました。

【第三回研修会】

平成三十一年一月十五日(月)

青少年育成センター

千葉県警察本部生活安全部少年課北総地区少年センター上席少年補導専門員の久保聡子様に薬物乱用に関して講演して頂きました。



「薬物乱用教室」についての講演



遊び半分の たった一度の使用でも「薬物乱用」であり、体に与える影響は自分だけではなく、将来育むべき自分の子どもの脳にも悪い影響を与えるとの話がありました。

薬物を誘われた時は、①断る気持ちをしっかりと相手に伝えること②断つたら、すぐにその場を離れることが、自分を守ることにつながると強く訴えてくださいました。

編集後記

一年を通して声かけや見守りを続けて参りましたが、いつも明るくあいさつを返してくれる子ども達に青少年補導委員としてのやりがいを感じることができました。

今号「みちしるべ」は平成最後の発行となります。不審者情報にも気を配りながらこれからも地道な活動をして参りたいと思います。

広報委員 小山 梨美

青少年育成センター からのお知らせ

青少年の皆さんが日頃抱えるストレスを解消し、リラックスできる場所として、当施設一階のオープンスペースを開放しております。

市内在住あるいは在学の二十歳未満の方であれば、個人でもグループでも、卓球や読書、自習や談話などに利用することができます。気軽にご利用ください。

【問い合わせ】

☎〇四三(四)二二七八六七

【利用時間】

月曜日～金曜日(平日のみ)

午前九時～午後五時

(会議等で使用時は利用できません)



青少年育成センター